

平成21年12月25日

「JR北海道環境報告書2009」の作成について

地球温暖化防止、循環型社会の実現、環境汚染物質の削減など、地球環境問題は世界的な課題として重要性を増しており、企業や個人に対しても地球環境保全への配慮が求められています。JR北海道では、北海道の重要な資源である自然環境の保全、さらには地球環境保全への貢献を目指して、社員一人ひとりの意識を高め環境問題に取り組んでおります。

今回、昨年度に引き続き、平成20年度における環境保全への取り組み等についてとりまとめた「JR北海道環境報告書2009」を作成しましたので、お知らせします。

「JR北海道環境報告書2009」の概要

基本理念、基本方針、行動指針

事業活動による環境負荷

資源投入量（電力、燃料、水、OA用紙）

事業活動の主な実績（車両走行キロ、輸送人員）及び環境負荷量（CO₂排出量）

環境保全コストとその主な効果

数値目標及び実績の推移

JR北海道のボランティアプラン（自主行動目標）と実績の推移

環境マネジメントシステムの状況

地球温暖化防止への取り組み

省エネルギー車両の導入、パーク＆トレイン駐車場の整備状況、鉄道林等の保全、
アトラックストップの取り組み、環境にやさしい鉄道の利用促進 等

資源リサイクルへの取り組み

ゴミ・乗車券類のリサイクル、ペットボトル再生繊維を用いた新制服の導入、

水資源の有効利用 等

列車の騒音・振動対策

鉄道施設及び車両に係わる対策 等

化学物質の管理状況

化学物質の管理、PCB廃棄物の保管と処理 等

環境汚染への対応

旭川運転所跡地の油含有土壌への対応、

名寄駅車両給油装置の地下配管腐食による経路漏洩への対応

社会的取り組み

イベントへの参加、植樹活動、エコポイント事業への協力 等

詳しくは「JR北海道環境報告書2009」をご覧ください。なお、「JR北海道環境報告書2009」は当社のホームページ（<http://www.jrhokkaido.co.jp/>）からもご覧いただけます。